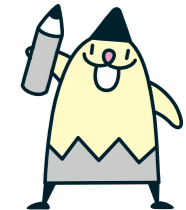


はじめまして。

新しい学びを作る基本単元です。



文字を整えて書く「原理・原則」

1 書写のかぎ

同じ方向の画が二つ以上あるときは、その一つを 書く。
 同じ方向の画が三つ以上あるときは、画の間かくを くらいの広さにあける。

43 一〜四年まで学習する「書写のかぎ」でたしかめよう。

2 画の長さの間かく

それぞれの文字の、画の長さや画の間かくがどうなっているか考えましょう。
 このように、線や○を書き入れましょう。

3 生かそう

長く書く画はどれか、どの間かくをそろえるか、考えて書きましょう。

2 たしかめよう

見つけた「書写のかぎ」を、毛筆でたしかめてみましょう。

点画の長さ 点画の間かく 点画の方向

128%拡大でぴったり半紙大！

学習にあたって | 毛筆の教材文字は128%に拡大すると、半紙に書いたときの原寸大になります。 |

4年P10・11

単元の学習事項と、関連する既習事項を常に意識できるように！



128%拡大でぴったり半紙大！

書写のかぎ

6 しせい・持ち方

● 始筆・送筆・終筆

● 横画

● たて画

● 左はらい

● 右はらい

● 点

● 折れ

● 反り

● 曲がり

● 折れ・折り返し

● 結び

● 筆順

● 点画のつながり

● 書く速さ

● 外形

● 点画の長さ

● 点画の間かく

43 点画の方向

● 点画のせし方

● 点画の交わり方

● 組み立て方

● 文字の中心

● 行の中心

● 文字の大きさ

● 字間・行間

● 筆記具と用紙

11

15

「書写のかぎ」インデックスで、学習事項と既習事項が一目で分かる！

DMマーク

デジタルコンテンツを活用できる！

(→20ページ参照)

この教科書を使った授業の流れをご紹介します。

「お手本をよく見て書いて書こうね」が 書写の授業ではないんです。

文字を整えて書くためには、理解しておくべき「**原理・原則**」があります。

東京書籍の『新しい書写』では、その「**原理・原則**」を「**書写のかぎ**」と名付け、系統立てて各単元に配しました。「書写のかぎ」を見つける↓「**確かめる**」↓「**生かす**」ことで、書写の知識・技能の定着を図ります。

書写のかぎ

「何を学ぶの？」を明確にした「書写のかぎ」

原則として一単元の一つの「書写のかぎ」を配置し、単元のねらいを焦点化しました。「書写のかぎ」を単元の核として、知識・技能の習得、活用を組み合わせた**課題解決型の単元展開**になっています。

1
見つけよう

書写のかぎを「見つけよう」

身近な硬筆の文字から課題を見出し、文字を整えて書くための**原理・原則**（「書写のかぎ」）を見つめる。|| 「**主体的な学び**」への導き

三玉

自分が書く文字は
どうなっているかな。



2
たしかめよう

書写のかぎを「確かめよう」

見つけた「書写のかぎ」を、実際に書くことで**確かめ**、理解を深める。

毛筆で大きく書くと
分かりやすいよ。



**ふり返って
話そう**

振り返って話そう

自己評価だけでなく、対話することで理解を**確かめ**、振り返りを深める。|| 「**対話的な学び**」への導き

同じ方向の画が二つ以上あるときは、
一つだけ長く書くことが分かったよ。

画の間隔も同じにそろ
えると整ったね。

私の名前にある「青」も、同じ
「書写のかぎ」を使って書けるね。



3
生かそう

書写のかぎを「生かそう」

「書写のかぎ」を、ほかの文字にどのように生か
せばよいのか考えて書く。|| 「**深い学び**」への導き

書写のかぎを生か
して書ける文字って、
たくさんあるんだ！

草
書
点
家



生活に 広げよう

書写のかぎを「生活に広げよう」

これまでに習得してきた「書写のかぎ」を使って、他教科の学習や
生活の中の具体的な場面で、複合的な視点で文字や文字群を整えて書く。

|| **思考力・判断力・表現力**の育成

(→8ページ参照)

生活の中に
広がっていくよ。



知識及び技能

思考力、
判断力、表現力等

学びに向かう力、
人間性等

主体的・対話的で
深い学び

見方・考え方
資質・能力

学習過程の
明確化

学習の系統性の
重視

国語との連携

文字文化

特別支援教育

ユニバーサル
デザイン

幼小接続

スタート
カリキュラム

小中接続

カリキュラム
マネジメント

他教科との関連

教科横断的に
取り組む課題

授業支援

ICT活用
デジタルコンテンツ

デジタル教科書

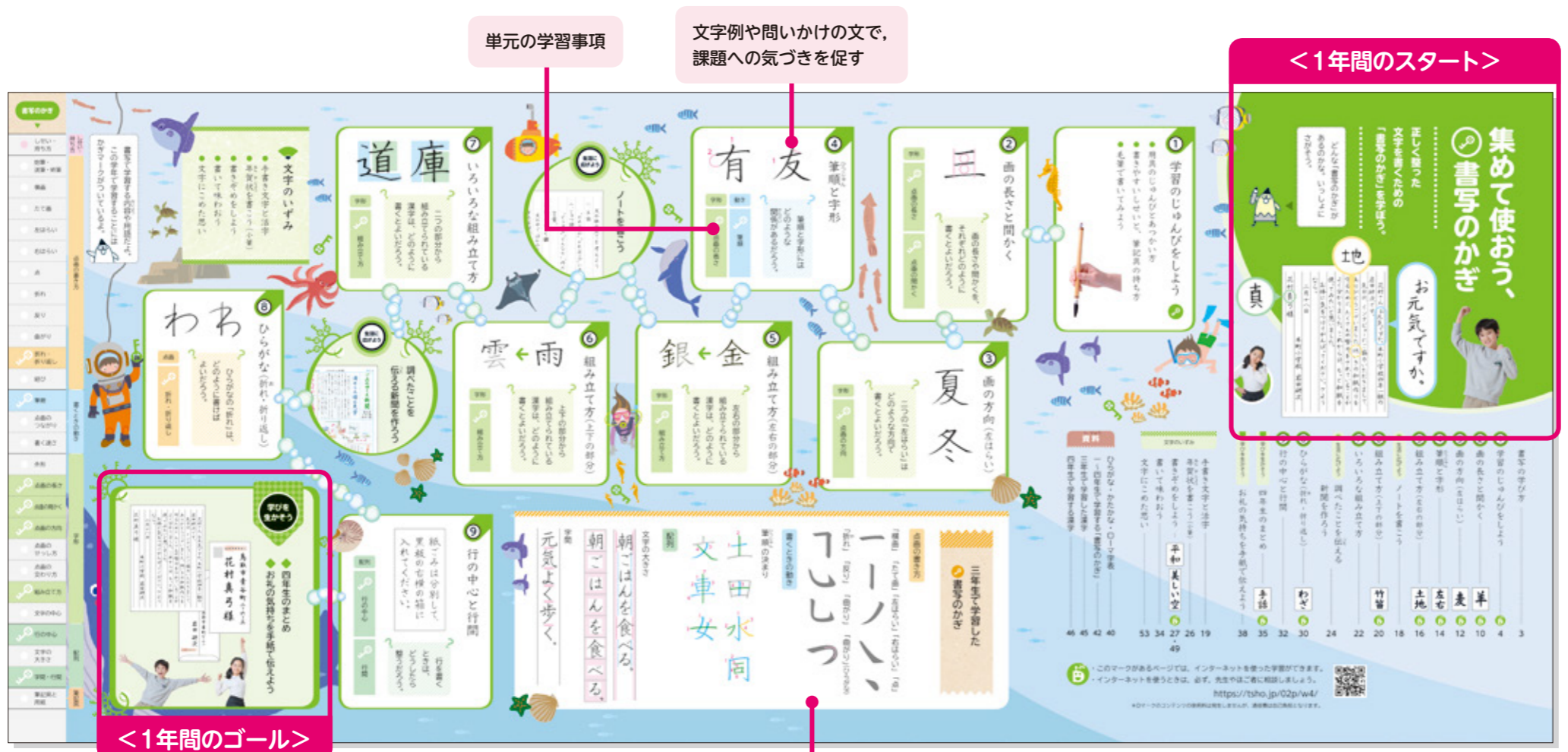
教師用指導書

書写の授業でも、「主体的・対話的で深い学び」ができています。

書写では、何をどのように学んでいくのか。子供たちが自身が学習内容や学習過程について見通しをもち理解することが、主体的な学びにつながります。また、随時、協動的な活動を促し、対話的な学びができるように構成しました。

一年間の学びを見通すイラストマップ

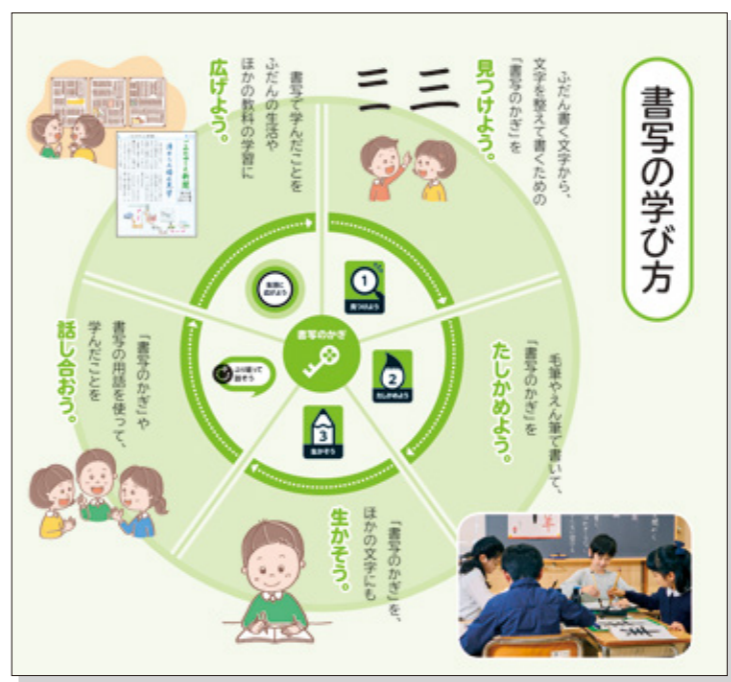
一年間の学習を、「書写のかぎ」を集めながら進む旅に見立てました。「書写でどんなことを学ぶんだろう」「一年後にはどんな文字が書けるようになるだろう」。見通しをもつことで、主体的に学ぼうとする意欲を引き出します。



4年巻頭折り込み

「書写の学び方」を学ぶ意味

学習過程を理解することで、目的やねらいを明確に捉えた、質の高い学習活動が行えるようになります。



4年 P3

単元の学習事項
文字例や問いかけの文で、
課題への気づきを促す

前学年の学習内容

対話的な学びを実現する工夫

単元末の評価「ふり返って話そう」をはじめ、友達と話し合う活動を随所に取り入れました。学んだことを言葉で整理することで、生きて働く知識・技能として落とし込めるようにしています。



6年 P34

「深い学び」を促す活用単元

基本単元で身につけた知識・技能をどのように使えばより伝わりやすい文字が書けるか。そこに**思考力・判断力・表現力**が必要となります。次のページからは、実の場で「書写のかぎ」を活用することで、書写の学びを深めていくポイントを紹介します。

新教育課程 キーワード

- 知識及び技能
- 思考力、判断力、表現力等
- 学びに向かう力、人間性等
- 主体的・対話的で深い学び
- 見方・考え方 資質・能力
- 学習過程の明確化
- 学習の系統性の重視
- 国語との連携
- 文字文化
- 特別支援教育
- ユニバーサルデザイン
- 幼小接続
- スタートカリキュラム
- 小中接続
- カリキュラムマネジメント
- 他教科との関連
- 教科横断的に取り組む課題
- 授業支援
- ICT活用 デジタルコンテンツ
- デジタル教科書
- 教師用指導書